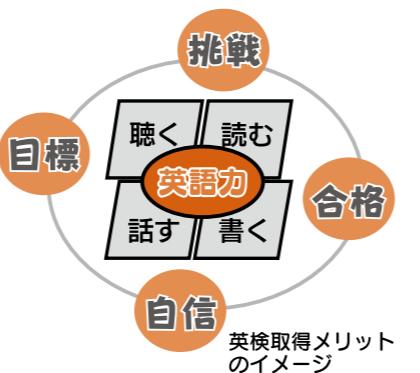


3つ目の新たな試みとして、市内公立中学校3年生が公益社団法人日本英語検定協会が主催する英検(実用英語技能検定)3級を受ける際に、検定料の半額を補助するという沼津市独自の取り組み「みんなで受けよう!英検3級事業」を始めました。英検は、聴く、読む、話す、書くといった英語の総合能力の目安となる資格試験であり、取得すれば高校や大学の入試や単位認定などで優遇措置を受けられるメリットがあるほか、海外留学時の語学力証明資格としても認定されていることなどから、学校や企業、実社会での価値が認められているのです。沼津市の場合は、生徒の学習意欲を向上させ、英語に親しみやすい環境をつくることを目的に、これまで英検の取得を勧めてきました。



英検の受験会場となった第五中学校の様子



対象 1次試験、2次試験、受験会場に関係なく、英検3級を受験する市内公立中学校3年生(市立高中等部3年生、静浦小中一貫学校9年生を含む)
補助額 検定料の半額(生徒1人につき1回)
※今年度の試験申し込みは終了しています。

英検取得メリットのイメージ

例として、昨年度中学校3年生だった生徒は、小学校1年生から言語科が導入され英語の時間が設けられた学年で、3級取得は約4人に1人という実績を持っています。「これは近隣市町と比べると比較的高いものであり、言語教育10年間の成果として評価されるところですが、これを例えれば、2人に1人の約50%という数字に上げることができます。英語力が向上することはもちろん、「英語教育」沼津」として「英語を学ばせたいから沼津に行く」という意識へと繋げていくこともできる」と期待が高まります。英語教育の成果を目にする形で表すには、中学校卒業程度のレベルとされるこの3級取得を基準とし、これまで以上に多くの生徒が受験できる機会と環境を整備することが、より一層の英語教育の推進に繋がるものと考え、年3回開催される試験のうち、一人につき1回分の検定料の半額を補助することとしました。これにより、今まで興味があつても受験に至らなかつた生徒たちに促していくことができます。また今年度は市内各中学校が試験会場となり、更に受けやすい環境を整えました。

今後も生徒たちにとって自身の英語力の励みとなり、自信に繋がるそんな施策を講じていきます。

まちの機能も国際化!

◆市役所窓口等で翻訳アプリ入りのタブレット端末を活用し、外国人とのコミュニケーションを図る

▶公共サイン(道路案内標識・観光案内看板)に外国語表記の追加やビクトグラム(絵文字)を導入

◀このマークが目印!
無料のWi-Fiスポットを7カ所(JR沼津駅南口観光案内所・北口広場、中央公園、さんさんホール、沼津みなと新鮮館、戸田御浜岬公園、沼津市役所)に整備

英語教育に取り組むまちだから
まちづくりにも活かしていく

文部科学省は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される平成32年度を目処にグローバル化に対応した英語教育の体制を段階的に整備していく。沼津市はこれまでの英語教育の実績に更に磨きをかけて、全国に先駆けて取り組みを引き続き行って、このままの未来を担う子どもたちが国際感覚を身につけ、世界に羽ばたいていけるよう背中を推していきたいと考えています。

また、これをまちづくりに活かし、沼津のまちが国際感覚豊かなまちとしての歩みを進め、言葉や文化の壁を乗り越えて異文化交流を楽しみ、深めていくことで、新たな活力を生み出していくけるよう目指していきます。



イングリッシュ アドベンチャー



英語で会話してとってもが楽しかった
(We talked in English and had fun.)

外国の文化を知って興味をもったよ
(We learned about and became interested in foreign cultures.)

今までにない貴重な経験ができた!
(We enjoyed a precious experience that we'd never had before!)



●学校教育課
☎ 055・934・4809

やあ、みんな! 今日はみんなと過ごせて楽しかったよ。
ありがとう。

ありがとうございました。

参加した子どもたちの笑顔溢れる様子から、確実に「英語で話す力」を身につけ、英語を「コミュニケーションのツールとして親しみ、活用していく様子が見て取れました。

今年度は初めての試みとして今回開催され、少年自然の家などの施設をバスで巡りながら外国人スタッフとゲームやレクリエーションを楽しんだり(8月)、クリスマスにちなんだお菓子づくり体験のほか、英語圏の国々の文化について学んだり、外国人スタッフに英語で日本を紹介したり(12月)と延べ200人程の子どもたちが参加しました。子どもたちは学校での英語の授業とは違った雰囲気に最初は緊張していましたが、慣れてくると外国人スタッフの英語を一生懸命聞き取り、理解した上で、知っている単語や表現を駆使して自分の考え方や思いを積極的に伝え、交流を深めていきました。

と一日英語漬けで様々な活動を共にし、英語力を身につけ、国際感覚を磨く取り組み「イングリッシュ・アドベンチャー」を開催しました。

今年度は初めての試みとして今回開催され、少年自然の家などの施設をバスで巡りながら外国人スタッフとゲームやレクリエーションを楽しんだり(8月)、クリスマスにちなんだお菓子づくり体験のほか、英語圏の国々の文化について学んだり、外国人スタッフに英語で日本を紹介したり(12月)と延べ200人程の子どもたちが参加しました。子どもたちは学校での英語の授業とは違った雰囲気に最初は緊張していましたが、慣れてくると外国人スタッフの英語を一生懸命聞き取り、理解した上で、知っている単語や表現を駆使して自分の考え方や思いを積極的に伝え、交流を深めていきました。

今年度は初めての試みとして今回開催され、少年自然の家などの施設をバスで巡りながら外国人スタッフとゲームやレクリエーションを楽しんだり(8月)、クリスマスにちなんだお菓子づくり体験のほか、英語圏の国々の文化について学んだり、外国人スタッフに英語で日本を紹介したり(12月)と延べ200人程の子どもたちが参加しました。子どもたちは学校での英語の授業とは違った雰囲気に最初は緊張していましたが、慣れてくると外国人スタッフの英語を一生懸命聞き取り、理解した上で、知っている単語や表現を駆使して自分の考え方や思いを積極的に伝え、交流を深めていきました。

と一日英語漬けで様々な活動を共にし、英語力を身につけ、国際感覚を磨く取り組み「イングリッシュ・アドベンチャー」を開催しました。